



SIHDS 第7回

血液疾患免疫療法 研究会学術集会

プログラム・抄録集

免疫療法、
がん治療の
表舞台へ！

SIHDS 2015 in TOKYO



会期 平成27年 9月26日(土)

会場 東京大学 伊藤国際学術研究センター内 伊藤謝恩ホール

会長 小澤 敬也 東京大学医科学研究所 病院長
遺伝子・細胞治療センター(CGCT)センター長
先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 教授



SIHDS 2015 in TOKYO

第7回

血液疾患免疫療法研究会学術集会

プログラム・抄録集

会 長： 小澤 敬也

東京大学医科学研究所 病院長

遺伝子・細胞治療センター(CGCT) センター長

先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 教授

主催大学事務局：東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野内

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1 Tel:03-6409-2436 Fax:03-6409-2437

E-mail : sihds7-admin@umin.ac.jp

HP : <https://confit.atlas.jp/guide/event/sihds7/top>

事務局担当： 永井 純正



第7回血液疾患免疫療法研究会学術集会（SIHDS 2015 in TOKYO） の開催にあたって



東京大学医科学研究所 病院長

同 遺伝子・細胞治療センター（CGCT） センター長

同 先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 教授

小澤 敬也

この度、第7回血液疾患免疫療法研究会学術集会の会長を拝命し、平成27年9月26日（土）に東京大学伊藤国際学術研究センター内の伊藤謝恩ホールにて開催することとなりました。本郷通りに面した東大赤門の隣に洒落た建物がありますが、その地下にある楕円形の講堂です。

本学術集会では会員や関連分野の医療従事者等の皆様の研究発表及び学術交流を通じて、血液疾患の免疫学的研究並びに免疫療法の発展に少しでも役立つ機会となるよう、鋭意準備を進めてきました。

ここ数年、がんに対する免疫療法の発展には目を見張るものがあります。特に、造血器腫瘍では免疫療法の効果が出やすいと考えられます。そこで、今回の学術集会のメイン・テーマを「免疫療法、がん治療の表舞台へ！」と致しました。会長シンポジウムではこのテーマを取り上げ、基礎・臨床の両面から注目すべき成果を出しておられる先生方に御発表いただき、活発な議論を展開できればと思います。前回の第6回学術集会でも同様のシンポジウムが企画されましたが、今回は研究がさらに一段と進んでいることを期待したいと思います。

また、公募演題では、御陰様で例年よりも多い40演題が集まりました。やはり免疫療法に対する関心が益々高まっていることの現れだと思われます。今回は、4演題をプレナリーセッション、20演題を一般口演（セッションⅠ～Ⅴ）、16演題をポスターセッションで御発表いただくことにしました。この中から3演題程度を選び、優秀演題賞を贈呈したいと考えています。

その他、ランチョン・セミナーやイブニング・セミナーといった共催セミナーでも新しい話題を提供していただく予定です。

「免疫」をキーワードに、テーマを絞って血液疾患に関する議論を200人規模で集中的に行うこの学術集会は、大変貴重で有意義な機会になるものと確信しております。現在、この「研究会」を「学会」に発展させる準備も進められているようですので、今回の学術集会はその意味でも是非とも成功させたいと考えております。

9月は学会シーズンの始まりで大変御多忙とは存じますが、できるだけ多くの皆様に SIHDS 2015 in TOKYO に御参加いただき、実り多い学術集会になることを願っております。



日程表

講演会場（伊藤謝恩ホール）	
8:15	8:15～ 受付開始
	8:15～ 8:45 評議員会（3F 中教室）
8:55	8:55～ 9:00 開会の挨拶
9:00	9:00～ 9:40 セッションⅠ 免疫制御システムに関する基礎研究（O-1～O-4） 座長：渋谷 彰（筑波大学）
9:40	9:40～10:20 セッションⅡ 新しい解析技術とTリンパ球機能解析（O-5～O-8） 座長：中尾 眞二（金沢大学）
	休 憩
10:35	10:35～11:15 セッションⅢ 免疫療法に関する基礎研究（O-9～O-12） 座長：赤塚 美樹（藤田保健衛生大学）
11:15	11:15～11:55 セッションⅣ CAR 遺伝子治療とウイルス療法（O-13～O-16） 座長：平家 勇司（聖路加国際病院）
12:10	12:10～12:50 ランチョン・セミナー（共催：武田薬品工業株式会社） 座長：岡本 真一郎（慶應義塾大学） 「CD30 抗原を標的とした Brentuximab Vedotin により、 HL/ALCL の標準治療はどう変わったか」 演者：丸山 大（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）
13:00	13:00～14:00 ポスター・セッション（P-1～P-16）
14:00	14:00～14:20 総 会
14:25	14:25～15:05 セッションⅤ 免疫療法の臨床試験（O-17～O-20） 座長：村田 誠（名古屋大学）
15:05	15:05～16:05 プレナリー・セッション（PL-1～PL-4） 座長：杉山 治夫（大阪大学）、門脇 則光（香川大学）
16:10	16:10～17:50 会長シンポジウム「免疫療法、がん治療の表舞台へ！」 座長：小澤 敬也（東京大学医科学研究所）、安川 正貴（愛媛大学） S-1 制御性T細胞コントロールによる効果的ながん免疫療法開発 西川 博嘉（国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫 TR 分野） S-2 CD19 特異的キメラ抗原受容体（CAR）発現 T 細胞を用いた養子免疫療法の臨床開発 大嶺 謙（自治医科大学 内科学講座血液学部門／ 免疫遺伝子細胞治療学（タカラバイオ）講座） S-3 より安全で、かつ効果的な、がんに対する養子免疫 T 細胞療法 平野 直人（Princess Margaret Cancer Centre, University of Toronto） S-4 標準治療となりつつある癌免疫療法ーチェックポイント阻害剤により開かれた新時代ー 田原 秀晃（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 臓器細胞工学分野）
17:55	17:55～18:35 イブニング・セミナー（共催：中外製薬株式会社） 座長：谷 憲三朗（東京大学医科学研究所） 「がん患者での解析から得られた myeloid-derived suppressor cells (MDSC) の知見について」 演者：北野 滋久（国立がん研究センター中央病院 先端医療科）
18:35	18:35～18:40 閉会の挨拶
19:00	19:00～20:30 情報交換会（多目的スペース）

プログラム 一覧





プログラム

8:55 ~ 9:00 開会の挨拶

会長：小澤 敬也

東京大学医科学研究所 病院長

遺伝子・細胞治療センター（CGCT）センター長

先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 教授

9:00 ~ 9:40 一般演題（口演） セッション I

「免疫制御システムに関する基礎研究」

座長：渋谷 彰（筑波大学）

0-1 抗原特異的 T 細胞の誘導における抗原提示細胞に発現する PD-L1 の役割

Roles of PD-L1 on antigen-presenting cells for the induction of antigen-specific T cells

○後藤 辰徳、西田 徹也、高木 えり奈、宮尾 康太郎、小山 大輔、酒村 玲央奈、
葉名尻 良、渡邊 慶介、今橋 伸彦、寺倉 精太郎、村田 誠、清井 仁

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

0-2 高吸収性クルクミン併用による免疫抑制改善効果を介した免疫チェックポイント阻害療法の効果増強

Curcumin augments effects of immune-checkpoint inhibitory therapies via reversing cancer-induced immunosuppression

○早川 妙香¹、杉山 重里¹、谷口 智憲¹、今泉 厚²、河上 裕¹

1 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所（細胞情報）

2 株式会社 セラバリュース

0-3 悪性リンパ腫に伴う NK 細胞依存性骨髓由来抑制細胞サブセットの同定と免疫制御機構

Characterization of the myeloid-derived suppressor cell subset regulated by NK cells in malignant lymphoma cells regulated by the NK cell immunity

佐藤 悠輔¹、清水 佳奈子¹、朝倉 三貴¹、日高 道弘²、○藤井 眞一郎¹

1 理研・統合生命医科学研究センター、免疫細胞治療研究チーム

2 国立病院機構熊本医療センター 血液内科

0-4 癌患者血清における可溶性 CD155 の上昇

Increased soluble CD155 in the serum of cancer patients

井口 研子^{1,2}、渋谷 彰^{2,3}、渋谷 和子²

1 筑波大学医学医療系 乳腺甲状腺内分泌外科

2 筑波大学医学医療系 免疫学

3 筑波大学生命領域学際研究センター

「新しい解析技術と T リンパ球機能解析」

座長：中尾 眞二（金沢大学）

0-5 デジタル PCR を用いた 6pLOH による HLA 欠失血球の検出

A reliable method to detect 6pLOH in patients with aplastic anemia using digital drop PCR

○材木 義隆¹、中川 紀温¹、井美 達也¹、本宮 佳奈¹、丸山 裕之¹、片桐 孝和¹、
高松 博幸¹、柏瀬 貢一²、中尾 眞二¹

1 金沢大学医薬保健学域医学系細胞移植学

2 関東甲信越ブロック血液センター

0-6 再生不良性貧血患者の造血前駆細胞を HLA-B*40:02 拘束性に抑制する細胞傷害性 T 細胞の単離と機能解析

Induction of HLA-B*40:02-restricted CTL possessing cytotoxic and suppressive functions against HPCs from patients with aplastic anemia

○稲熊 容子¹、細川 晃平²、赤塚 美樹^{1,3}、岡本 晃直¹、片桐 孝和²、葛島 清隆³、
中尾 眞二²、恵美 宣彦¹

1 藤田保健衛生大学・血液内科

2 金沢大学・医薬保健研究域・医学系・細胞移植学

3 愛知県がんセンター研究所・腫瘍免疫部

0-7 次世代シーケンサーを用いた臍帯血移植片拒絶症例におけるドナー反応性 T 細胞クローンの追跡

Tracking donor-reactive T cell clones by high-throughput sequencing in cord blood allograft rejection

○葉名尻 良、村田 誠、宮尾 康太郎、小山 大輔、酒村 玲央奈、後藤 辰徳、
渡邊 慶介、寺倉 精太郎、西田 徹也、清井 仁

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

0-8 Direct single cell 解析による同種造血幹細胞移植後 HLA-A24 特異的 CMV 特異的細胞傷害性 T 細胞のレパトア解析

Dynamics and chimerism of HLA-A24-restricted CMV-CTL following allo-HCT

○仲宗根 秀樹* 斎藤 桐子* 田中 ゆきえ 山崎 理絵 佐藤 美樹 石原 優子
河村 浩二 坂本 佳奈 和田 秀則 木村 俊一 菊池 美里 諫田 淳也
賀古 真一 神田 善伸

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科

*Equally contributing investigators

「免疫療法に関する基礎研究」

座長：赤塚 美樹（藤田保健衛生大学）

0-9 イマチニブ投与中止後 CML 患者におけるがん幹細胞抗原特異的 CTL の解析

Detection of cytotoxic T cells against leukemia stem cell antigen in CML patients after cessation of imatinib○神地 沙織¹、小澤 光司¹、松下 麻衣子¹、松木 絵里²、櫻井 政寿²、雁金 大樹²、市川 大樹¹、岡本 真一郎²、服部 豊¹

1 慶應義塾大学 薬学部 病態生理学講座

2 慶應義塾大学 医学部 血液内科

0-10 ATL 患者におけるモガムリズマブの有効性と制御性 T 細胞、TCR レパトア、HLA および NK 細胞受容体多型の解析

The correlations between the efficacy of mogamulizumab against ATL and regulatory T cells, TCR repertoire and polymorphisms of HLA and NK cell receptors○進藤 岳郎¹ 楠木 靖史² 鈴木 隆二³ 北浦 一孝³ 西川 博嘉⁴ 渡辺 信和⁵ 渡邊 達郎⁶ 末岡 榮三朗⁶ 嬉野 博志⁷ 宮原 正晴⁷ 森脇 裕司⁸ 吉田 真一郎⁸ 一戸 辰夫⁹ Luis J Espinoza¹⁰ 高見 昭良¹¹ 田中 秀則² 佐治 博夫² 坂口 志文¹² 木村晋也¹

1 佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科、2 HLA 研究所、

3 国立相模原病院臨床研究センター、4 国立がん研究センター先端医薬開発センター、

5 九州がんセンター細胞治療科、6 佐賀大学臨床検査医学、7 唐津日赤病院血液内科、

8 長崎医療センター血液内科、9 広島大学原医研血液・腫瘍内科、10 金沢大学血液内科、

11 愛知医大血液内科、12 大阪大学免疫学フロンティア研究センター

0-11 多ウイルス特異的 T 細胞療法における標的部位の同定（エピトープマッピング）法の確立

Establishment of epitope mapping system for multivirus-specific T cell therapy.○立川（川名） 愛^{1,2}、小野 敏明³、藤田 由利子⁴、田中 ゆきえ⁴、高橋 聡⁴、森尾 友宏³

1 国立感染症研究所エイズ研究センター

2 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当

3 東京医科歯科大学医学部附属病院発生発達病態学分野

4 東京大学医科学研究所先端医療研究センター分子療法分野

0-12 臍帯由来間葉系細胞による重症 GVHD 治療を目指した基盤研究

Pre-clinical study of immunotherapy using umbilical cord-derived mesenchymal stromal cells for acute severe GVHD

○長村 登紀子、森 有加、高橋 敦子、島津 貴久、向井 丈雄、東條 有伸

東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部

「CAR 遺伝子治療とウイルス療法」

座長：平家 勇司（聖路加国際病院）

0-13 非ウイルスベクター PiggyBac トランスポゾン法による抗 CD19 キメラ抗原受容体導入 T 細胞の臨床開発**Establishment of clinical-grade CD19-targeting chimeric antigen receptor modified T cell therapy using piggyBac transposon non-virus vector system**○西尾 信博^{1,2}、高橋 義行²、中沢 洋三³、奥野 友介¹、川島 希²、鈴木 哲¹、植田 康平¹、成田 敦²、村松 秀城²、濱 麻人²、小島 勢二²

1 名古屋大学 先端医療・臨床研究支援センター

2 名古屋大学 小児科

3 信州大学 小児科

0-14 テトラサイクリンシステムを用いた CD19CAR の発現コントロール**Inducible CD19CAR expression under tetracycline-based regulation system**

○酒村 玲央奈、寺倉 精太郎、渡邊 慶介、宮尾 康太郎、小山 大輔、後藤 辰徳、葉名尻 良、西田 徹也、村田 誠、清井 仁

名古屋大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学

0-15 メソテリン特異的キメラ抗原受容体発現 $\gamma\delta$ T 細胞を用いた養子免疫療法**Adoptive immunotherapy with $\gamma\delta$ T cells engineered to express a chimeric antigen receptor specific for mesothelin**○松下 博和¹、中島 淳²、井上 雄太²、長岡 考治^{1,4}、上羽 悟史³、松島 綱治³、垣見 和宏¹

1 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学、2 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科

3 東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学、4 株式会社メディネット

0-16 腫瘍細胞表面抗原を介して侵入する標的化単純ヘルペスウイルスベクターの開発**Development of herpes simplex virus vectors fully retargeted to a variety of tumor-associated antigens**○城山 智貴^{1,2}、内田 宏昭^{1,2}、大久保 優^{1,2}、柴田 智子^{1,2}、福原 武志²、山口 美樹³、Justus B. Cohen⁴、Joseph C. Glorioso⁴、渡部 徹郎²、濱田 洋文²、田原 秀晃¹

1 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 臓器細胞工学分野

2 東京薬科大学 生命科学研究科 生命科学専攻

3 札幌医科大学 医学部 フロンティア医学研究所 分子医学部門

4 ピッツバーグ大学 医学部 微生物・分子遺伝学分野

12 : 10 ~ 12 : 50

ランチョン・セミナー

座長：岡本 真一郎（慶應義塾大学）

CD30 抗原を標的とした Brentuximab Vedotin により、HL/ALCL の標準治療はどう変わったか

Brentuximab vedotin, an antibody-drug conjugate that targets CD30, for the treatment of patients with Hodgkin lymphoma or anaplastic large cell lymphoma

丸山 大

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

共催：武田薬品工業株式会社

13 : 00 ~ 14 : 00

ポスター・セッション

P-1 悪性リンパ腫における腫瘍浸潤 CD8⁺ T リンパ球の解析

Characterization of tumor-infiltrating CD8⁺ T lymphocytes in malignant lymphoma

○岸 裕幸¹、村橋 睦了²、浜名 洋¹、松本 太一³、原 周司³、猪狩 洋介⁴、石塚 賢治⁴、高松 泰⁴、田村 和夫⁴、谷 憲三朗⁵、村口 篤¹

- 1 富山大学 大学院医学薬学研究部（医学）免疫学、
- 2 九州大学附属病院 先端分子細胞治療科、3 福岡大学 薬学部 医薬品情報学、
- 4 福岡大学 医学部 腫瘍血液感染症内科学、
- 5 東京大学 医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門

P-2 TCRB ディープシーケンスを用いた NY-ESO-1 ペプチドワクチンによる特異的 CD8⁺ T 細胞の動態解析

The tracking of NY-ESO-1-specific CD8⁺ T cells by deep sequencing of human TCRB CDR3 rearrangements in a peptide vaccine recipient.

○宮井 まなみ¹、細井 亮宏¹、飯野 環¹、松下 博和¹、中島 淳²、中山 睿一³、垣見 和宏¹

- 1 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座
- 2 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科
- 3 川崎医療福祉大学 医療福祉学部

P-3 アデノウイルスと EB ウイルス間の異種免疫

Heterologous Immunity between Adenovirus and Epstein-Barr Virus

○安藤 純¹、Cliona Rooney²、小松 則夫¹

- 1 順天堂大学医学部 血液内科
- 2 Baylor College of Medicine、Center for Cell and Gene Therapy

P-4 実臨床応用に向けたウイルス特異的 T 細胞療法の開発

Generation of Multivirus-specific T cells by a single stimulation of PBMCs with a peptide mixture utilizing serum free medium

○藤田 由利子¹、田中 ゆきえ¹、小野 敏明²、立川（川名） 愛³、Ann. M. Leen⁴、
Helen. E. Heslop⁴、森尾 友宏²、高橋 聡¹

- 1 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野、
- 2 東京医科歯科大学大学院 発生発達病態分野、3 国立感染症研究所エイズ研究センター、
- 4 Center for Cell and Gene Therapy, Baylor College of Medicine, Houston, TX, United States

P-5 iPS 細胞を活用した抗原特異的 T 細胞療法の開発

Development of antigen specific T cell therapy by using of human iPS cells

○安井 裕¹、南川 淳隆¹、上田 樹¹、入口 翔一¹、河合 洋平¹、安川 正貴²、
○金子 新¹

- 1 京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門
- 2 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学

P-6 キメラ抗原受容体の自己活性評価を基にした最適な CD19-CAR ベクターの開発

Development of CD19-CAR retroviral vector based on the analyses of ligand-independent activation of CD19-CAR T cells

○蝶野 英人、天石 泰典、裴 崢、岡本 幸子、峰野 純一

タカラバイオ株式会社 CDM センター

P-7 Survivin2B がん関連抗原を用いた免疫療法のマウス評価系モデルに関する研究

Studies on a mouse model for immunotherapy targeting cancer-associated antigen survivin 2B

○高橋 正二郎^{1,2,3}、豊嶋 崇徳²、松本 美佐子³、瀬谷 司³

- 1 札幌北楡病院、2 北海道大学大学院医学研究科医学専攻内科学講座血液内科学分野、
- 3 北海道大学大学院医学研究科医学専攻免疫学分野

P-8 マウスモデルを用いた骨髓系腫瘍における治療標的分子の探索

Search of therapeutic target molecules in myeloid tumors using a mouse model

○幣 光太郎、亀田 拓郎、上運天 綾子、関根 雅明、秋月 溪一、日高 智徳、
久富木 庸子、北中 明、下田 和哉

宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液学分野

P-9 造血器腫瘍に対する HSV-1 ウイルス療法の開発

Oncolytic virus therapy with HSV-1 for hematologic malignancies

○石野 亮¹、川瀬 有美¹、杉本 直志¹、北脇 年雄²、藤堂 具紀³、高折 晃史¹、門脇 則光⁴

- 1 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、2 大津赤十字病院 血液免疫内科、
- 3 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野、
- 4 香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学

P-10 多発性骨髄腫に対する let7a 制御性ワクシニアウイルスを用いた腫瘍溶解療法

Oncolytic therapy targeting multiple myeloma with let7a-regulated vaccinia virus

○佐藤 広太¹、二見 宗孔¹、中村 貴史²、東條 有伸¹

- 1 東京大学医科学研究所 分子療法分野
- 2 鳥取大学大学院医学系研究科 機能再生医科学専攻 生体機能医工学講座 生体高次機能学部門

P-11 CML のイマチニブ治療におけるインターフェロン治療への変更ならびに治療中止の研究 (JISAS)

Therapy-Free Remission after Interferon Maintenance with Imatinib Discontinuation in CML (JISAS)

○臼杵 憲祐¹、鈴木 憲史²、木村 晋也³、東條 有伸⁴

- 1 NTT 東日本関東病院 血液内科、2 日本赤十字社医療センター 血液内科、
- 3 佐賀大学医学部附属病院 血液・呼吸器・腫瘍内科、
- 4 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科

P-12 Stop-imatinib CML 患者末梢血単核球における免疫関連 miRNA の意義

Expression of microRNA-148b in PBMCs; a possible biomarker to discontinue imatinib safely in CML patients.

○大屋敷 一馬¹、溝口 出²、善本 隆之²、田内 哲三¹、岡部 聖一¹、片桐 誠一郎¹、梅津 知宏³、大屋敷 純子³

- 1 東京医科大学・血液内科、2 東京医科大学・医学総合研究所・免疫制御研究部門
- 3 東京医科大学・医学総合研究所・分子腫瘍研究部門

P-13 Mogamulizumab 投与後に CCR4 発現低下を認めた再発・再燃 ATL 症例

Decreased expression of CCR4 in relapsed ATL after treatment with mogamulizumab

○中島 潤¹、今泉 芳孝¹、加藤 丈晴²、佐々木 大介³、鶴田 一人³、松尾 真稔¹、佐藤 信也¹、澤山 靖¹、田口 潤¹、長谷川 寛雄³、波多 智子¹、柳原 克紀³、宮崎 泰司^{1,2}

- 1 長崎大学病院 血液内科
- 2 長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野（原研内科）
- 3 長崎大学病院 検査部

P-14 WT1 ワクチンを用いた難治性小児血液腫瘍患者に対する同種移植後免疫療法 臨床試験：再発例の解析

A phase I/II study of WT1 peptide vaccination following allogeneic stem cell transplantation in pediatric patients : Study of relapse cases

○橋井 佳子¹、宮村 能子¹、岡 芳弘²、西田 純幸³、坪井 昭博⁴、尾路 祐介⁵、保仙 直毅⁵、杉山 治夫⁶、大藺 恵一¹

- 1 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、2 同 癌免疫学、
3 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学、4 同 癌ワクチン療法学、
5 同 癌幹細胞制御学、6 同 免疫造血制御学

P-15 悪性リンパ腫に対する WT1 ペプチドパルス樹状細胞を用いたワクチン療法

Vaccination with WT1 peptide-pulsed dendritic cells in malignant lymphoma patients

○小笠原 正浩、太田 秀一

札幌北楡病院 血液内科

P-16 再生不良性貧血と骨髄異形成症候群における体内鉄動態の解析

Iron metabolism in Japanese patients with aplastic anemia and myelodysplastic syndromes

○鈴木 隆浩¹、生田 克哉²、高後 裕^{2,3}、小澤 敬也^{1,4}

- 1 自治医科大学医学部 内科学講座血液学部門、
2 旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野、
3 国際医療福祉大学 消化器センター、4 東京大学医科学研究所 遺伝子治療開発分野

「免疫療法の臨床試験」

座長：村田 誠（名古屋大学）

0-17 急性骨髄性白血病に対する WT1 ワクチン療法

WT1 vaccination therapy against acute myeloid leukemia

○中田 潤¹、中江 吉希²、川上 学³、森本 創世子⁴、藤木 文博⁴、中島 博子⁴、
西田 純幸⁵、保仙 直毅⁶、坪井 昭博¹、尾路 祐介⁷、岡 芳弘⁴、杉山 治夫⁴

- 1 大阪大学 癌ワクチン療法学寄附講座、2 北野病院 血液内科、
3 日生病院 血液腫瘍化学療法内科、4 大阪大学 癌免疫学共同講座、
5 大阪大学 呼吸器・免疫アレルギー内科学、6 大阪大学 生体情報科学、
7 大阪大学 癌幹細胞制御学寄附講座

0-18 WT1 ペプチドワクチン免疫療法の治療反応予測マーカーとしての WT1 ペプチド IgG 抗体

WT1 peptide IgG antibody: a predictive marker for WT1 peptide-based immunotherapy for glioblastoma

○尾路 祐介¹、橋本 直哉²、坪井 昭博³、泉本 修一⁴、村上 由依¹、岩井 美樹¹、
保仙 直毅¹、西田 純幸⁵、中田 潤³、中島 博子⁶、岡 芳弘⁶、吉峰 俊樹²、
杉山 治夫⁶

- 1 大阪大学大学院医学系研究科 癌幹細胞制御学、2 同 脳神経外科学、
3 同 癌ワクチン療法学、5 同 呼吸器免疫アレルギー内科学、6 同 癌免疫学、
4 近畿大学大学院医学系研究科・脳神経外科学

0-19 腫瘍抗原と免疫寛容を標的とした進行・再発固形腫瘍に対するシクロフォスファミド併用癌ワクチン免疫療法（第 I 相臨床試験）

Phase I clinical trial of five peptides cancer vaccine combined with cyclophosphamide targeting both tumor antigen and immune tolerance against advanced solid tumors

○村橋 睦了¹、土方 康基¹、山田 一成¹、田中 芳浩²、緒方 久修¹、岡野 慎士³、
岸本 淳司⁴、中村 祐輔⁵、谷 憲三朗^{1,6}

- 1 九州大学病院 先端分子細胞治療科、2 九州大学 ARO 次世代医療センター、
3 クリーブランドクリニック 移植センター、4 九州大学医学研究院 次世代医療開発講座、
5 シカゴ大学、6 東京大学医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門

0-20 進行固形腫瘍患者に対する少量シクロフォスファミド併用 RNF43 ペプチド特異的細胞療法第 I 相臨床試験

A phase I clinical trial of immunotherapy combined with cyclophosphamide for patients with advanced solid tumors.

○土方 康基¹、田中 芳浩²、岡崎 利彦²、山田 一成¹、村橋 睦了¹、中村 祐輔⁴、
谷 憲三朗³

- 1 九州大学病院 先端分子・細胞治療科、2 九州大学病院 ARO 次世代医療センター、
3 東京大学医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門、
4 シカゴ大学医学部血液・腫瘍内科

座長：杉山 治夫（大阪大学）

門脇 則光（香川大学）

PL-1 腫瘍中の IDO による CD19 特異的キメラ抗原受容体発現 T 細胞の抑制**T Cells Expressing CD19-Specific Chimeric Antigen Receptors Are Inhibited by Indoleamine 2, 3-dioxygenase in Tumor**○二宮 空暢^{1,2}、鶴見 寿¹、清水 雅仁¹、Malcolm K. Brenner²、Carlos A. Ramos²

1 岐阜大学医学部 第一内科

2 Center for Cell and Gene Therapy, Baylor College of Medicine

PL-2 ウイルス関連腫瘍に対する iPS 細胞由来若返り CTL 療法の臨床応用実現への試み**Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Rejuvenated T-Cell Therapy with Suicide Gene-based Safeguard System**○安藤 美樹¹、西村 聡修^{1,2}、山崎 聡¹、山口 智之¹、Malcolm K Brenner³、中内 啓光^{1,2}

1 東京大学医科学研究所 幹細胞治療分野

2 スタンフォード大学 Institute for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine

3 ベイラー医科大学 Center for Cell and Gene Therapy

PL-3 再発ハイリスク同種造血幹細胞移植後患者に対する WT1 ペプチドワクチン第 II 相臨床試験**Phase II clinical trial of WT1 peptide vaccination post allo HSCT in patients with high risk for relapse**○保仙 直毅¹、前田 哲生²、森本 創世子³、高島 聡士⁴、中田 潤⁵、西田 純幸⁴、坪井 昭博⁵、日野 雅之⁶、尾路 祐介¹、岡 芳弘³、熊ノ郷 淳⁴、金倉 譲²、杉山 治夫³

1 大阪大学 癌幹細胞制御学、2 同 血液腫瘍内科、3 同 癌免疫学、

4 同 呼吸器免疫アレルギー内科、5 同 癌ワクチン療法学、6 大阪市立大学 血液腫瘍内科

PL-4 WT1-siTCR-T 細胞療法を施行した AML/MTD の一例**A patient with AML/MTD who received WT1-siTCR/T therapy**○谷本 一史¹、藤原 弘¹、Nicholas Casey¹、東 太地¹、影山 慎一²、池田 裕明²、糠谷 育衛³、岡本 幸子³、峰野 純一³、珠玖 洋²、安川 正貴¹

1 愛媛大学 血液・免疫・感染症内科

2 三重大学 遺伝子・免疫細胞治療学

3 タカラバイオ（株）CDM センター

16 : 10 ~ 17 : 50 会長シンポジウム

「免疫療法、がん治療の表舞台へ！」

座長：小澤 敬也（東京大学医科学研究所）
安川 正貴（愛媛大学）

S-1 制御性 T 細胞コントロールによる効果的ながん免疫療法開発

Cancer Immunotherapy targeting Regulatory T Cells

西川 博嘉

国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫 TR 分野

S-2 CD19 特異的キメラ抗原受容体（CAR）発現 T 細胞を用いた養子免疫療法の臨床開発

Adoptive immunotherapy for hematological malignancy using autologous T cells expressing a chimeric antigen receptor specific to the CD19 antigen

大嶺 謙

自治医科大学 内科学講座血液学部門 免疫遺伝子細胞治療学（タカラバイオ）講座

S-3 より安全で、かつ効果的な、がんに対する養子免疫 T 細胞療法

Safer and more effective adoptive T cell therapy for cancer

平野 直人

Princess Margaret Cancer Centre, University of Toronto

**S-4 標準治療となりつつある癌免疫療法
ーチェックポイント阻害剤により開かれた新時代ー**

Cancer immunotherapy pioneered by check-point blockades

田原 秀晃

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 臓器細胞工学分野

17 : 55 ~ 18 : 35 イブニング・セミナー

座長：谷 憲三朗（東京大学医科学研究所）

**がん患者での解析から得られた myeloid-derived suppressor cells（MDSC）の知見
Recent findings of myeloid derived suppressor cells (MDSCs) in cancer patients**

北野 滋久

国立がん研究センター中央病院 先端医療科

共催：中外製薬株式会社

18 : 35 ~ 18 : 40 閉会の挨拶
